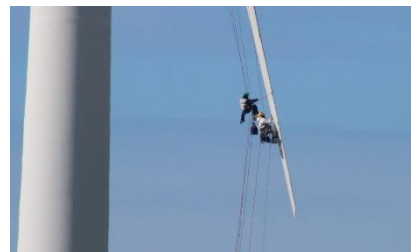




「実りの秋」、生徒たちは確実に成長しています！

「キュウリとピーマン」の話をした今学期の始業式からすでに2か月が経とうとしています。11月の声が聞こえるこの時期になると、今年度の江東中も振り返り地点を過ぎ、追い込みに向かうところまできたなと実感します。開催時期を9月下旬にした体育祭、そして10月後半の修学旅行や職場体験学習、各教科の学習や各学年の総合的な学習の時間での取り組み、秋の各部活動の大会と、たくさんの行事や活動をとおして、それぞれが「成長」を手に入れています。2学期後半も、たくさんの「実り」を手に入しましょう。



風車の羽の点検補修。地上80mの作業！初めて見て、感動しました。

【2年生修学旅行】 10月16日～18日の2泊3日で、大阪、京都への修学旅行に

出かけました。京都の寺社や観光地、大阪大空襲から復興発展した1970万国博覧会等、事前学習をしっかりと行い、姫路城や太陽の塔、伏見稲荷神社や建仁寺、八坂神社などを訪ね、本物に触れた感動や喜びをたくさんもち帰ることができました。自主研修では、経路を変更したりバス停がわからなかったりと、苦労した場面もありましたが、全グループが自分たちで解決をして、予定の場所を全て訪ねてきました。また旅行中の行動は、お互いのことを気遣い、さっと食事のグループを作ったり、車いすを押したり、思いやりある行動も随所で見られました。大阪や京都の歴史を学び、USJではしっかり楽しみ、充実した時間を体験できました。一生忘れない記憶となっていくことでしょう。互いに気を配り、「一心同体」のスローガン通り一体感のある修学旅行を創り上げました。2年生一人一人の成長と2年生学年集団の成長を、しっかりと感じる事ができた取り組みでした。



【3年生職場体験学習】 10月16日～18日の3日間、3年生は市内の各

事業所で「職場体験学習」に取り組みました。なりたい自分を思い描きながら、自分でエントリーシートを作り希望する職場に申し込んで実習に取り組みました。慣れない実習で疲れたことと思いますが、この実習でしか学べないことをたくさん得たことだと思います。将来の「自分づくり」に生かして欲しいです。また、この学習の体験発表会を、11月12日(火)の授業公開日に、3年生総合の時間で行う予定です。保護者の皆さまにはぜひご参観いただき、生徒たちがそれぞれの職場で得た学びの成果を見ていただきたいと思います。そして、このたびお世話になった事業所の皆様、大変ありがとうございました。



【1年生校外学習】 10月18日（金）に、1年生は校外学習で石見銀山に行きました。世界遺産センターで、銀山の歴史についての学習や銀さがし体験をしました。そのあと、間歩や町並みを回り、たくさん学んで帰りました。天気が良く、サイクリングやおいしいお弁当も楽しむことができました。



11月には、昨年度から開催時期を変更した「音楽発表会（校内）」が12日（火）、「江津市小中音楽会」が15日（金）に予定されています。また、28日（木）には「江津市キャリア教育講演会」があります。3年生は、進路に関わる面談や取組も本格化していきます。10月と11月の学びの成果は、確実に未来の自分につながっていくものとなっていきます。引き続き、「実りの秋」を実現していきましょう。最後に、10月23日（水）に市役所で行われた「第74回社会を明るくする運動標語入選作品表彰式」の様子をお伝えします。本校からは3名の生徒が表彰を受けました。おめでとう！



【優秀賞】3年：志窪 明
「顔あげて 一人でなやまず 相談を」
【佳作】2年：波北 沙紀
「考えて 誰かが見てる その行動」
【佳作】1年：永通 巨輝
「絆を作る 大事なものは 思いやり」

『粘り強く課題に取り組む力』を育てる！～令和6年度 全国学力・学習状況調査結果から～

先日「令和6年度全国学力・学習状況調査」の結果が公表されました。全国の小学校6年生と中学校3年生を対象とした毎年実施されている悉皆調査で、今年度、中学3年生の教科に関する調査は「国語・数学」でした。本校生徒の強みと弱みを分析し、学習指導や生活指導に活かしていきます。

教科等	強み	弱み	弱みに対する手立て
国語	・全体的に正答率が高い。全体の正答率67という数値は全国平均と比べても約9ポイント高く、バランスよく各能力を習得しているといえる。特に読むことの区分の問いでは全区平均と比較して20ポイントも高く強みといえる。 ・無回答なし。全体として問題に対して根気強く取り組もうとする姿勢がうかがえる。	・我が国の言語文化に関する事項の正答率が他の分野に比べて低い。行書の知識を問う問題だったため、この点について知識の習得が不十分であるといえる。 ・情報を具体と抽象で適切に理解しているかを問う問題の正答率が全国平均よりも5ポイント低い。具体と抽象という言葉の理解があいまいな生徒が多くいると考えられる。	・行書の知識の復習を行う。 ・説明文の読解等において、具体の部分と抽象の部分とを識別できるように指導する。そのために発問の工夫をしたり、課題の設定をしたりするなど生徒の「情報の具体と抽象」の理解度が高まる取り組みを行う。
数学	・式の計算や、決められた手順に従って数値を求めることは、比較的よくできている。 ・4つの領域の内、「数と式」「データの活用」領域においては、全国正答率よりもやや上回っている。また、「図形」「関数」の分野も全国正答率に比べて遜色がなく、バランスがとれている。全体的に無回答率は低い。	・「説明を完成する」「理由を説明する」といった問題に対して、正答率が低い。「て・に・を・は」が間違っていて説明が正しく伝わっていないような解答も見られた。 ・「連続する2つの偶数を、文字を用いて表す」問題の正答率が、県や国と比べて、5～15ポイントも低い。	・文字が何を意味しているのかという想像力が働いていないので、身のまわりの事象を数学的に解釈する問題に数多く触れさせ文字の意味を確認する経験を増やす。 ・計算ミスを防ぐことができるよう、計算ルールを正確に適用し途中の式を丁寧に書くよう指導する。
質問紙	・生徒全員が、「学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている」と考えている。 ・「友達や周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」と考えている生徒が多い。	・ICT機器の活用について全国平均と比べマイナス60とポイントが低い項目がある。学習におけるICT機器の活用に対して消極的な感情があることがうかがえる。 ・メディア接触の時間がとても多い。平日の動画視聴2時間以上の使用者9割、ゲームの使用平日3時間以上が5割である。	・ICT機器の主体的な活用を促す活動、課題の設定を進める。 ・家庭学習の取り組み方やメディアの利用と生活リズムの関連について全体指導、個別面談を継続して行う。

